

職員による自己評価

A環境面

△室内で動き回るスペースが狭い

B児童への支援内容

○個々の課題に合わせた目標を提案、個別にプログラムを作成、支援を行っている

C関係機関との連携

○遠隔で開催された勉強会や、区の事業所連絡会に参加

D保護者への説明責任・信頼関係

△保護者同士の関わりについては、ペアレントトレーニングで部分的に実施

E非常対応

○年間2回の避難訓練を行った

△マニュアルがない

保護者による評価

A環境面

△集団のスペースがせまい

B児童への支援内容

○子を理解して目標設定し計画に沿った支援が行われている

△保育園や幼稚園などとの交流が無い

C事業所からの情報発信

○ペアトレ参加、webセミナーも見ている

○丁寧なフィードバック

△保護者同士の関わり

△webセミナーのタイトルがわかりにくい

D非常対応

○避難訓練の実施

△マニュアルの説明

事業所内での分析

【共通点】

- ・部屋が狭く感じている
- ・お子さん一人一人に合わせた支援内容や目標を設定し、細かく説明している
- ・避難訓練はあったが、非常時のマニュアル等などはない

【相違点】

- ・保護者同士の関わり

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・ 支援計画や指導プログラムが個別に細かく作られており、課題や対応がわかりやすい。
- ・ 毎月の面談や質問への対応でアドバイスや助言がもらえる

事業所の改善点

- ・ スペースの使い方
- ・ 非常時のマニュアル策定
- ・ web セミナーのタイトル表示
- ・ 保護者同士の関わり

事業所の改善への取り組み

- ・ スペースの使い方
⇒限られたスペースなので十分な広さを補填するのはむずかしいですが、引き続き人数の調整や活動内容の工夫をしていく（例：近隣の公園での活動を増やす）
- ・ 非常時のマニュアル策定
⇒現在進めており、年度内には完成させます
- ・ Web セミナーのタイトル表示
⇒運営事務局への進言
- ・ 保護者同士の関わり
⇒個々により希望の有無が違うところなので、どのように進められるか検討

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・ 普段直接聞く機会がない保護者の率直な評価を伺う事ができて良かった
- ・ こちらが気づかない点に関するご意見が頂けて、新たな視点を持つことができ良かった
- ・ 支援の質というところで評価を頂けていて安心した。更なる質向上に努めたいと思った
- ・ 通常の支援とは別の次元にはなるが、非常対応についても同じように重要な責務と認識して、日常的に取り組んでいく必要性を感じた
- ・ ウェブセミナーによるペアレントトレーニングの周知が十分進んでいないと感じたので、今後企画部と連携してより効果的な方法を模索していきたいと思った
- ・ 頂いたご意見について、今後の事業所運営に取り入れていけるよう、職員全体で取り組んでいきたいと思った

事業所名 _____ 発達療育 レンテ

担当者名 _____ 児童発達支援管理責任者 北原亜紀